

大阪経済の情勢

(2020年10月指標を中心に)

2020年12月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる」

需要面では、個人消費は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。家電販売額、新車販売台数は増加、百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は減少。家計消費支出(近畿;9月)は減少。投資は、弱い動きとなっている。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は減少。輸出は、弱い動きが続いている。輸出額は増加。主要国向けでは、アメリカ向け以外の地域向けで増加。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(9月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(9月)は上昇、全国の生産(10月)は上昇。企業倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。雇用は、急速に弱まっている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(9月)は低下。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動は大幅に下押しされた状態が続いているため、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合 一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
10月		↓	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↓
9月	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓

		供給				
		生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
10月		↑	↑	↓	↓	
9月	↑	↑	↑	↓	↓	

※前年同月と比較し、上向き(矢印)は「景況改善」、下向き(矢印)は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き(矢印)となる。

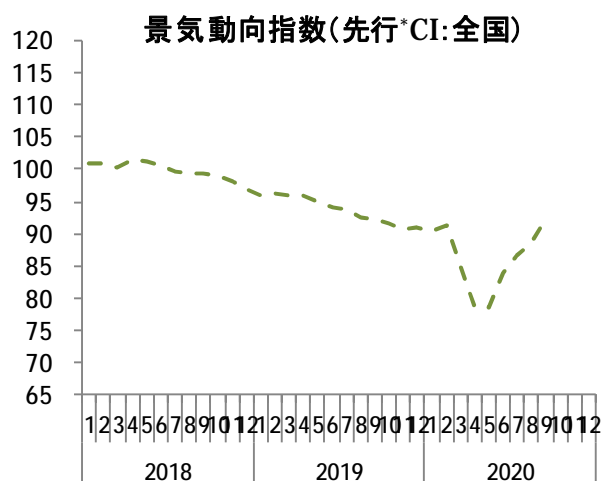
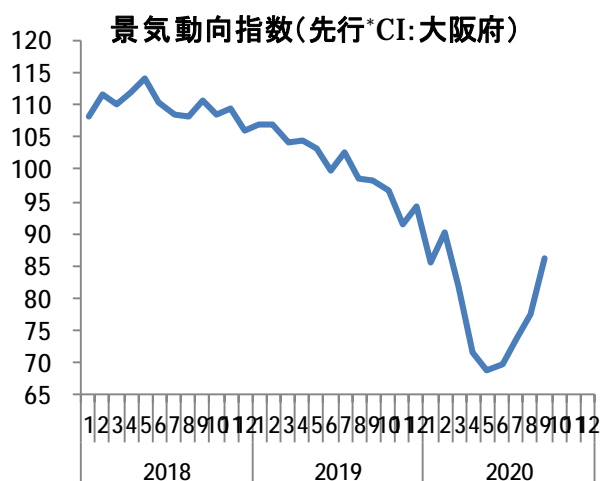
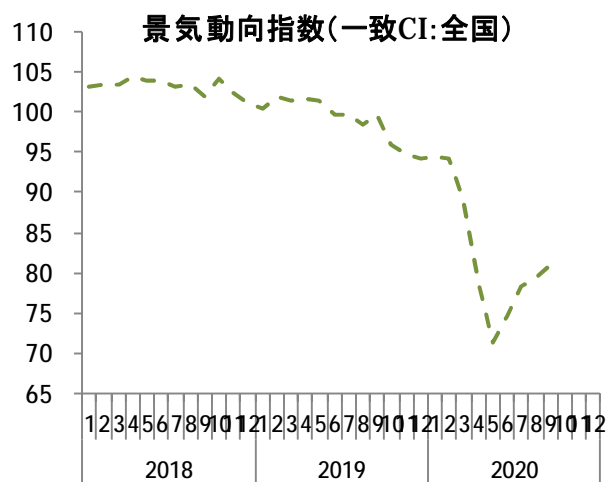
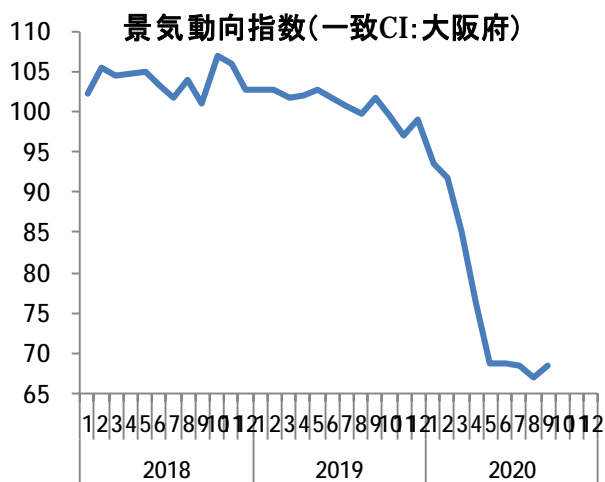
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2020年10月公表分) (2020年8月指標中心)	先月(2020年11月公表分) (2020年9月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。
内閣府「月例経済報告」	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店「関西金融経済概況」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、全体として持ち直しの動きが続いている。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(9月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「所定外労働時間指数(製造業)」「製造工業生産指数」が上昇に寄与。全国(9月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	20年8月	9月	10月
先行CI	77.4	P 86.2	
一致CI	67.1	P 68.5	

	全国		
	20年8月	9月	10月
先行CI	88.5	92.5	
一致CI	79.4	81.1	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、9月速報)

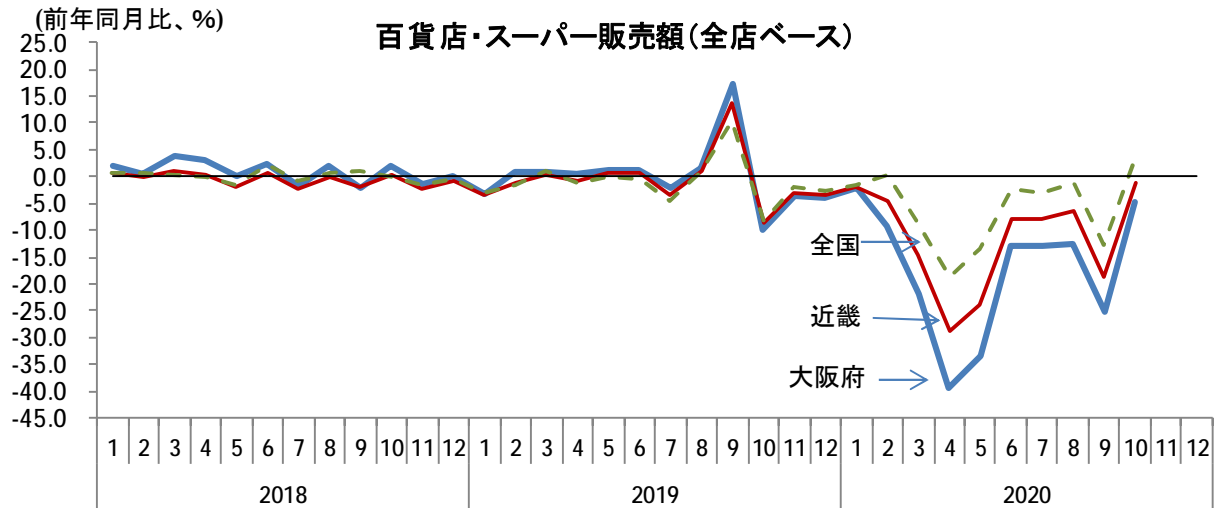
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.46	▲0.12	0.54	0.39	0.47	▲0.22	0.80

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。家電販売額、新車販売台数は増加、百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は減少。家計消費支出(近畿;9月)は減少。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【13ヶ月連続の減少。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		20年8月	9月	10月
販売額(億円)	大阪府	1,296	1,231	P 1,319
前年比(%)	大阪府	▲12.6	▲25.3	P ▲4.8
	近畿	▲6.3	▲18.6	P ▲1.2
	全国	▲1.2	▲12.8	P 3.8

百貨店販売額(全店)

		20年8月	9月	10月
前年比(%)	大阪府	▲27.4	▲39.2	P ▲9.1
	全国	▲21.3	▲34.0	P ▲2.5

スーパー販売額(全店)

		20年8月	9月	10月
前年比(%)	大阪府	0.9	▲9.2	P ▲1.0
	全国	5.6	▲3.0	P 5.8

○コンビニエンスストア販売額(全店)【8ヶ月連続の減少。】

		20年8月	9月	10月
販売額(億円)	大阪府	688	673	P 709
前年比(%)	大阪府	▲7.6	▲4.6	P ▲0.8
	近畿	▲7.0	▲4.1	P ▲1.6
	全国	▲5.6	▲3.1	P ▲3.3

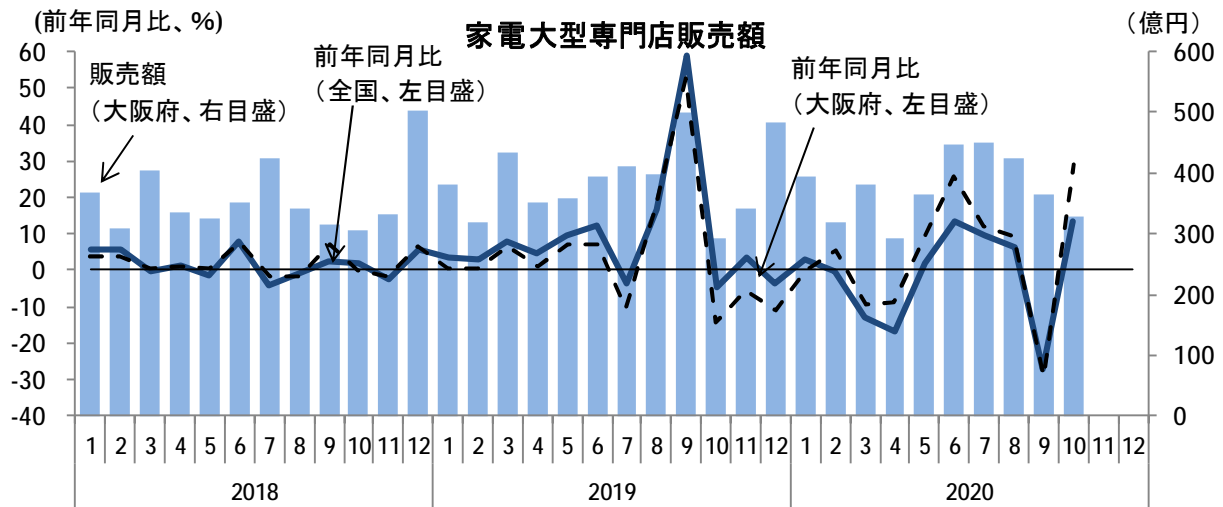
○家計消費支出【近畿(9月)は7ヶ月連続の減少。】

		20年8月	9月	10月
円	近畿	259,678	248,380	
前年比(%)	近畿	▲6.1	▲10.8	
	全国	▲6.7	▲10.2	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で2ヶ月ぶりの増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		20年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	6.2	▲27.3	P 13.2
	全国	9.5	▲29.0	P 29.0

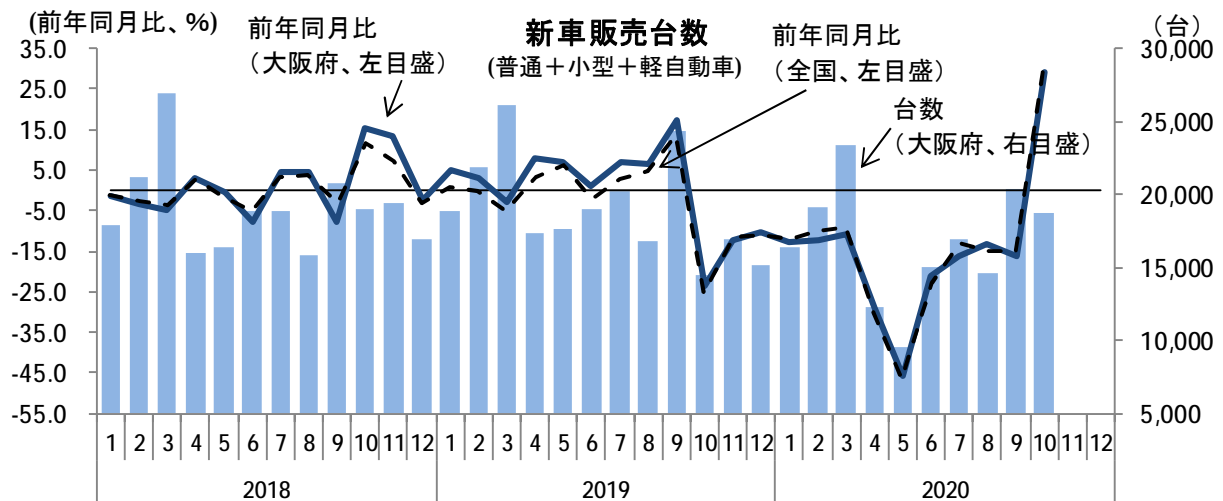
ドラッグストア販売額(全店)

		20年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	▲4.4	▲23.2	P ▲6.3
	全国	9.1	▲8.2	P 7.3

ホームセンター販売額(全店)

		20年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	5.4	▲13.4	P 8.1
	全国	12.5	▲9.9	P 9.5

○新車販売台数【前年同月比で13ヶ月ぶりの増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		20年8月	9月	10月
販売額(台)	大阪府	14,572	20,400	18,735
前年比 (%)	大阪府	▲13.3	▲16.4	29.3
	全国	▲14.8	▲14.8	30.8

車種別の増減

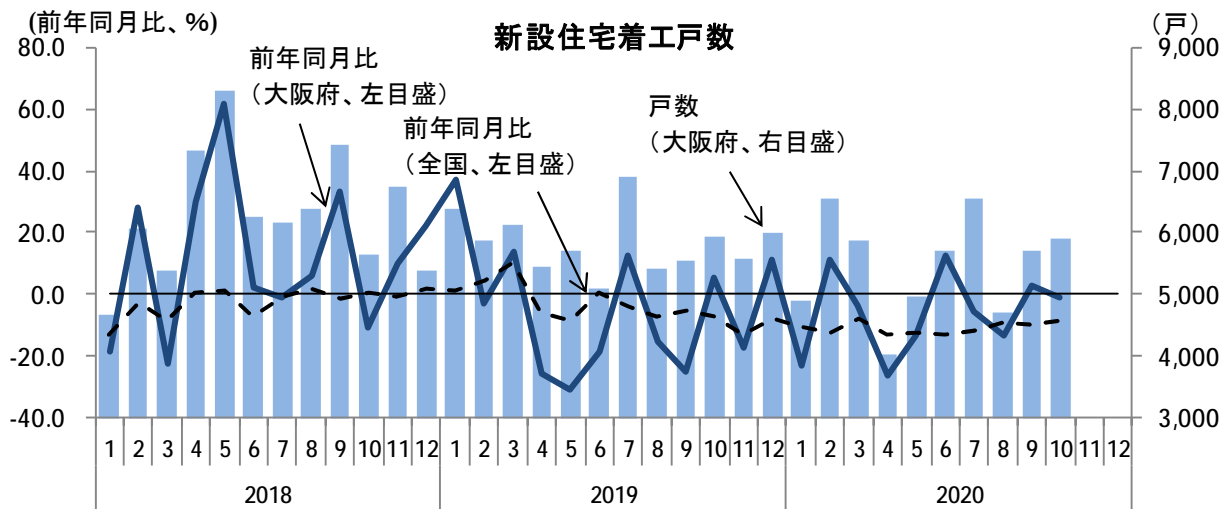
(大阪府、前年同月比(%))、10月)

普通車	小型車	軽自動車
32.5	23.4	30.7

[需要] 投資

投資は、弱い動きとなっている。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少。】

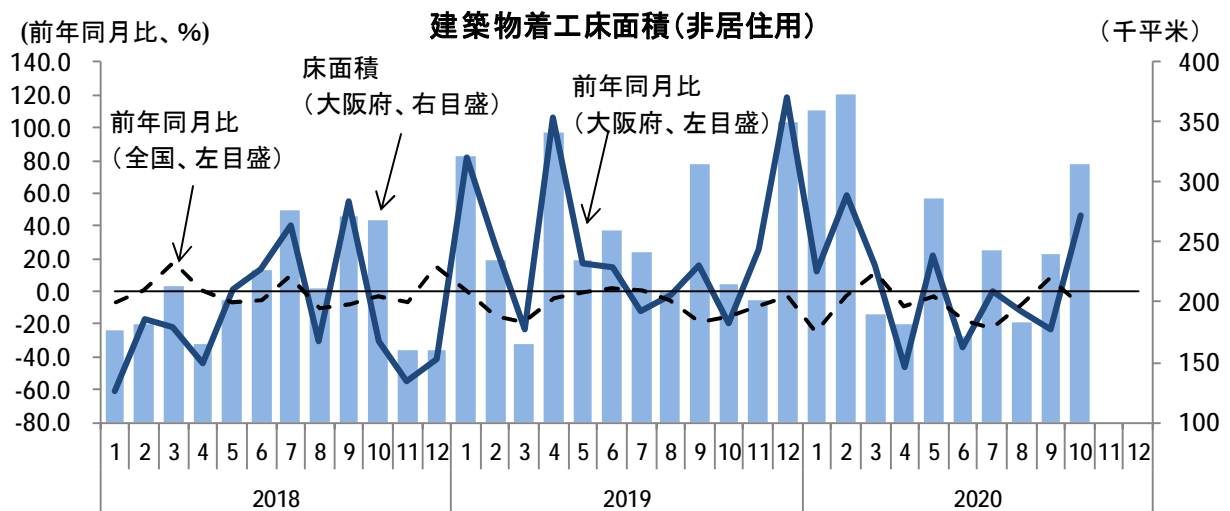


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		20年8月	9月	10月
戸数	大阪府	4,702	5,702	5,895
前年比 (%)	大阪府	▲13.3	2.8	▲0.9
	全国	▲9.1	▲9.9	▲8.3

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%）、10月)		
持家	貸家	分譲
12.0	17.5	▲16.2

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で3ヶ月ぶりの増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

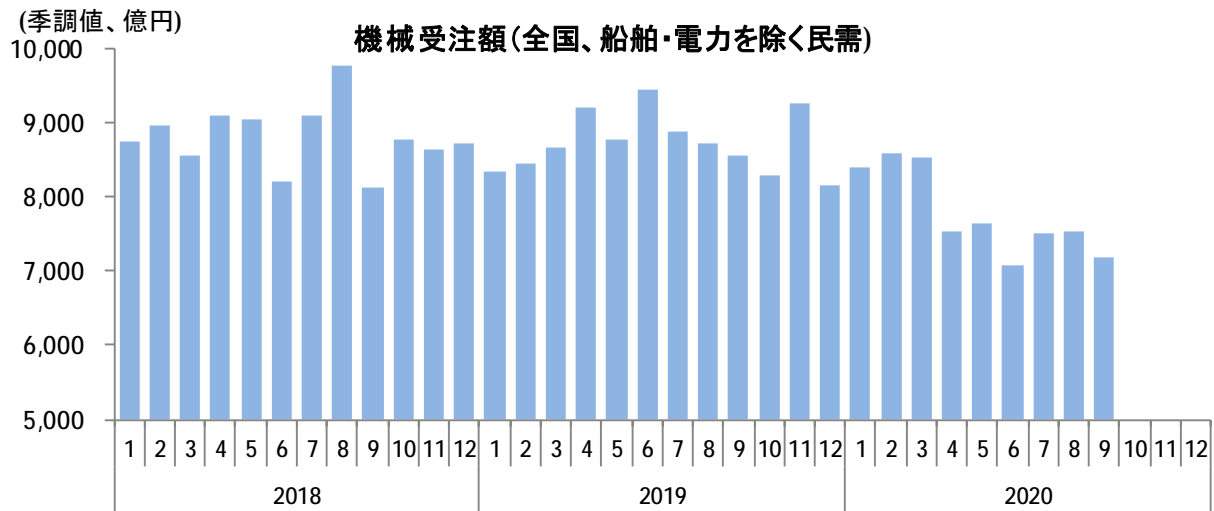
		20年8月	9月	10月
千 m ²	大阪府	1833	241	315
前年比 (%)	大阪府	▲12.1	▲23.6	46.2
	全国	▲8.2	7.8	▲7.3

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%）、10月)	
増加	卸売業・小売業(14.5)、運輸業(13.4)、その他のサービス業(13.2)
減少	宿泊業・飲食サービス業(▲6.6)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

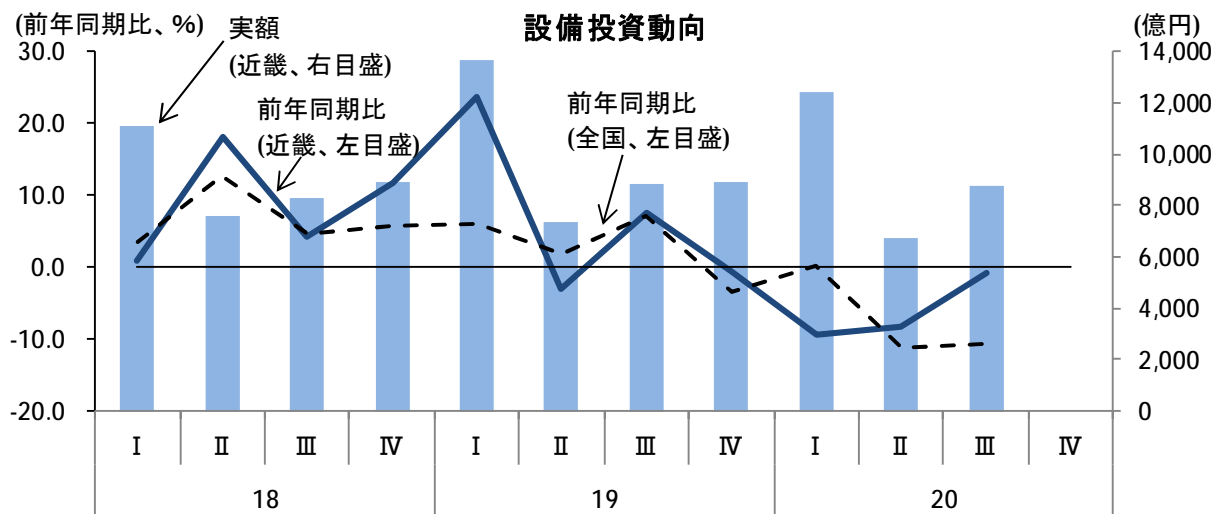
○機械受注額【9月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	20年8月	9月	10月
全国(億円)	7,525	7,193	

○設備投資動向【7~9月期(近畿)は前年同期比で4期連続の減少。「製造業」は減少、「非製造業」は増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		20年1~3月	4~6月	7~9月
億円	近畿	12,418	6,741	8,786
前年同期比 (%)	近畿	▲9.3	▲8.3	▲0.9
	全国	0.1	▲11.3	▲10.6

○公共工事請負金額【3ヶ月ぶりの減少。】

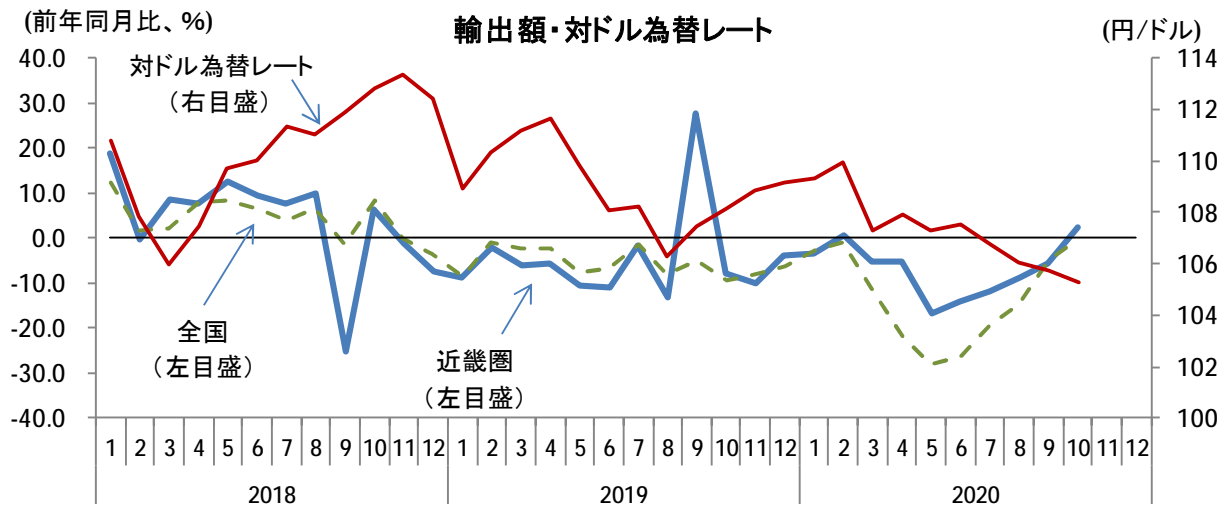
		20年8月	9月	10月
億円	大阪府	286	530	421
前年比 (%)	大阪府	4.6	83.3	▲22.9
	全国	13.2	17.1	▲0.4

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、弱い動きが続いている。輸出額は増加。主要国向けでは、アメリカ向け以外の地域向けで増加。輸入額は減少。

○輸出額【8ヶ月ぶりの増加。「医薬品」、「非鉄金属」などが増加。主要国・地域向けでは、アメリカ向け以外の地域向けで増加。】

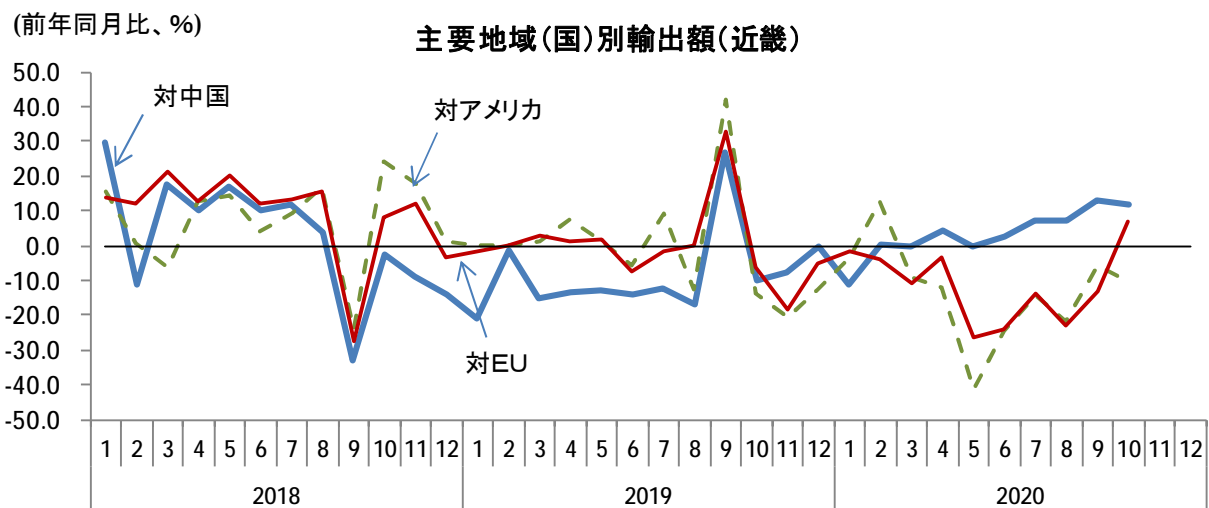


(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		20年8月	9月	10月
輸出額(億円)	近畿	12,049	13,340	P 14,307
前年比 (%)	近畿	▲8.7	▲5.7	P 2.3
	全国	▲14.8	▲4.9	P ▲0.2
為替レート(円/ドル)		106.04	105.74	105.24

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、10月)	
増加	医薬品、非鉄金属
減少	鉱物性燃料、半導体等電子部品

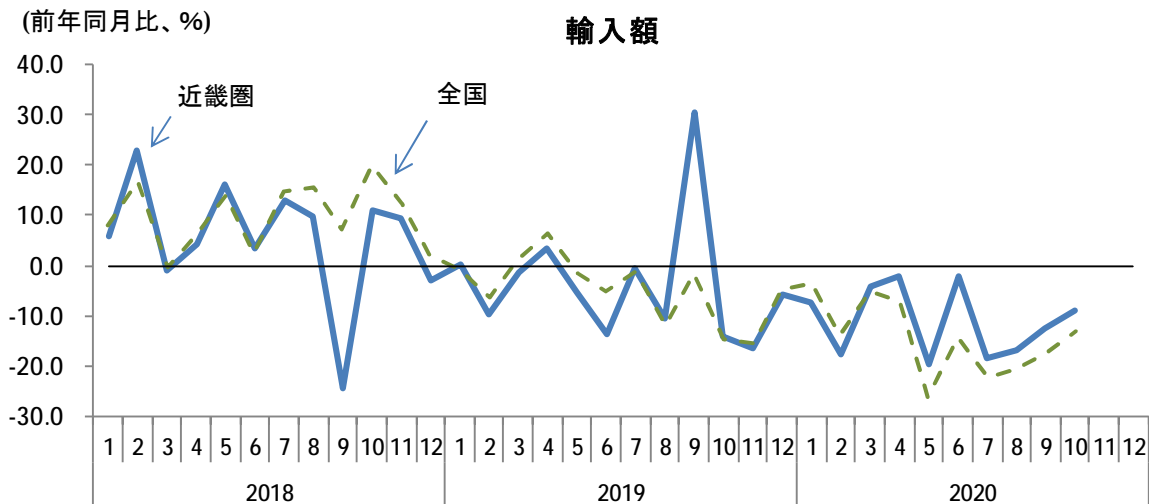


(資料) 大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、10月		
アジア(含む中国)	5.9	8ヶ月ぶりの増加
中国	11.9	5ヶ月連続の増加
EU	6.8	13ヶ月ぶりの増加
アメリカ	▲10.5	8ヶ月連続の減少

[需要] 貿易・観光

○輸入額【13ヶ月連続の減少。「原油及び粗油」、「通信機」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		20年8月	9月	10月
輸入額(億円)	近畿	9,982	P 10,622	P 10,986
前年比 (%)	近畿	▲16.9	P ▲12.6	P ▲9.0
	全国	▲20.7	P ▲17.4	P ▲13.3

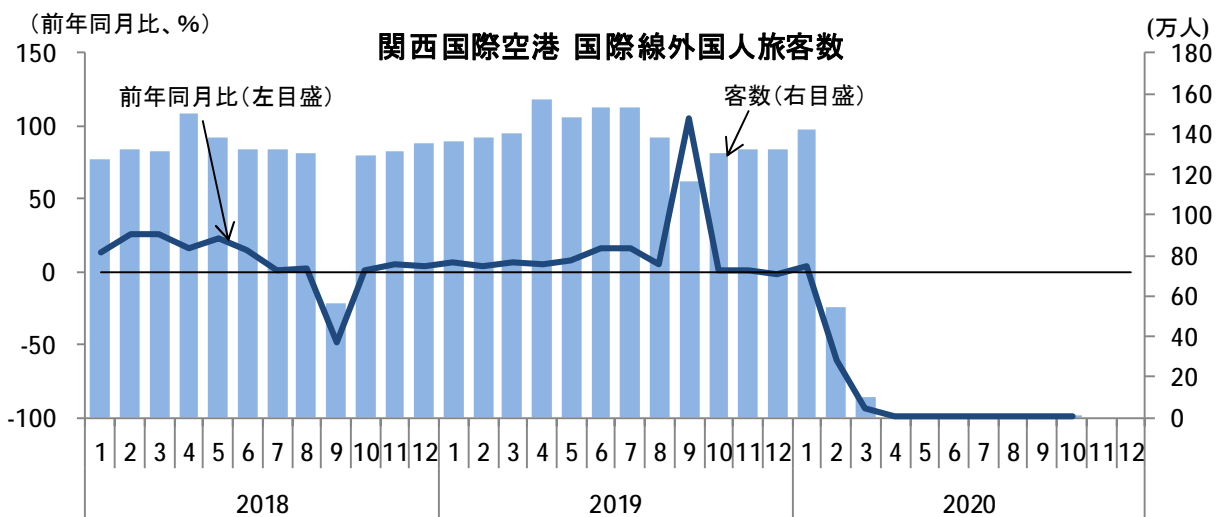
品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、10月)

増加	医薬品、半導体等製造装置
減少	原油及び粗油、通信機

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、10月

アジア(含む中国)	▲8.7	4ヶ月連続の減少
中国	▲6.2	4ヶ月連続の減少
EU	6.9	4ヶ月連続の増加
アメリカ	▲4.5	2ヶ月ぶりの減少

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で9ヶ月連続の減少。】



(資料)関西エアポート(株)

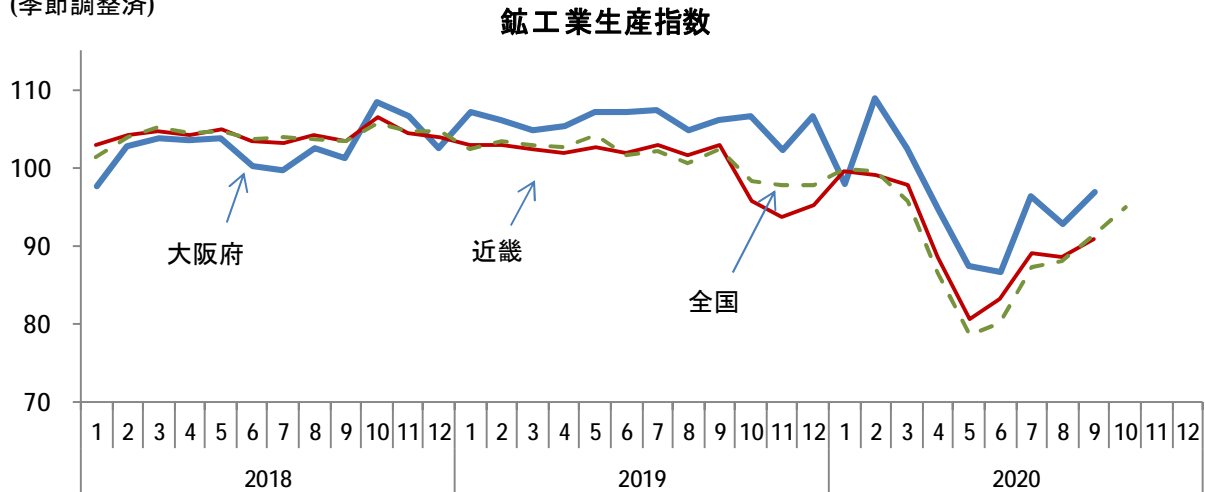
	20年8月	9月	10月
万人	0.8	P 0.7	P 0.9
前年比(%)	▲99.4	P ▲99.4	P ▲99.3

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(9月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(9月)は上昇、全国の生産(10月)は上昇。企業倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(9月)は2ヶ月ぶりの上昇。「生産用機械」、「輸送機械」などが上昇。近畿(9月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(10月、鉱工業)は5ヶ月連続の上昇。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	20年8月	9月	10月
大阪府	92.7	P 97.0	
近畿	88.7	90.8	
全国	88.1	91.5	P 95.0

鉱工業出荷指数

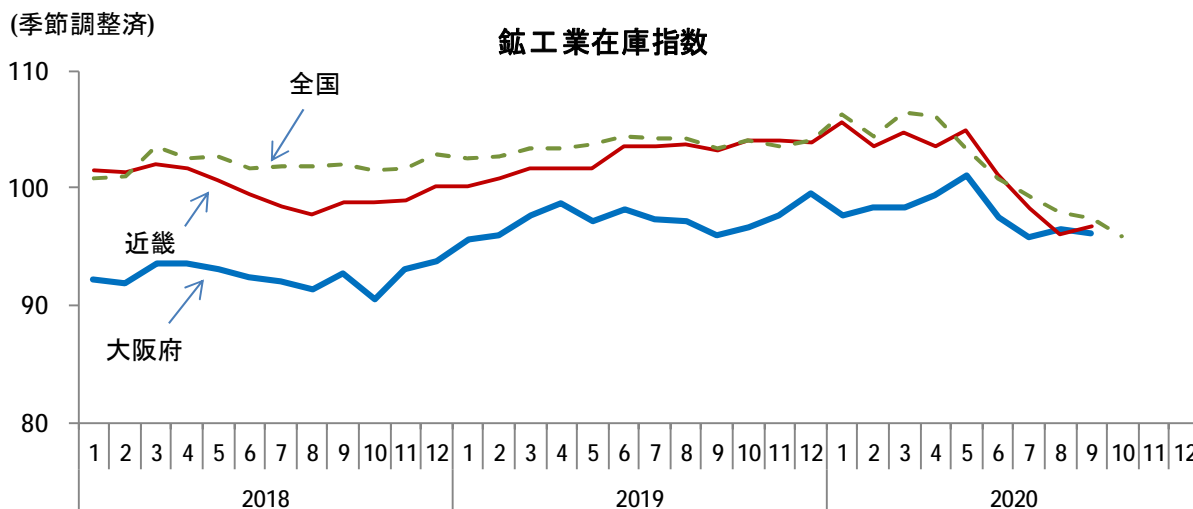
季調済	20年8月	9月	10月
大阪府	90.4	P 94.3	
近畿	88.1	91.3	
全国	87.1	90.5	P 94.7

生産指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%))、寄与度順、9月速報

上昇	生産用機械(15.4): ショベル系掘削機械、超硬工具 輸送機械(10.7): 鉄道車両部品、鉄道車両 汎用・業務用機械(9.4): 汎用内燃機関、一般用バルブ・コック
低下	電気・情報通信機械(▲5.6): 無線通信装置(除、移動通信装置) 金属製品(▲8.2): 橋りょう、産業用アルミニウム製品 窯業・土石製品(▲16.6): 無アルカリガラス基板、生コンクリート

[供給] 生産・企業活動

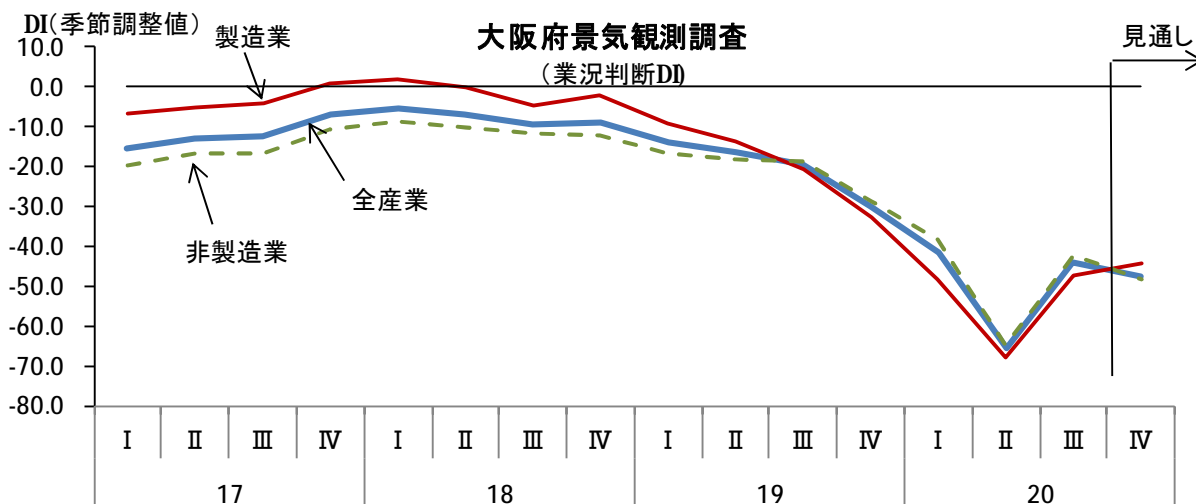
○鉱工業在庫指数【大阪府(9月)は2ヶ月ぶりの低下。「鉄鋼・非鉄金属」、「生産用機械」などが低下。近畿(9月)は4ヶ月ぶりの上昇。全国(10月)は7ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業在庫指数				在庫指数における産業別の主な変動 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、9月速報)	
季調済	20年8月	9月	10月	上昇	低下
大阪府	96.4	P 96.1		汎用・業務用機械(5.3):ポンプ、パッケージ形エアコン 輸送機械(27.3):小型乗用車	鉄鋼・非鉄金属(▲3.1):鉄鋼切断品、普通鋼小形棒 鋼 生産用機械(▲16.7):マシニングセンタ
近畿	96.1	96.8			
全国	98.0	97.5	P 95.9		

○企業の業況判断【7~9月期(全産業)は7期ぶりの改善。】

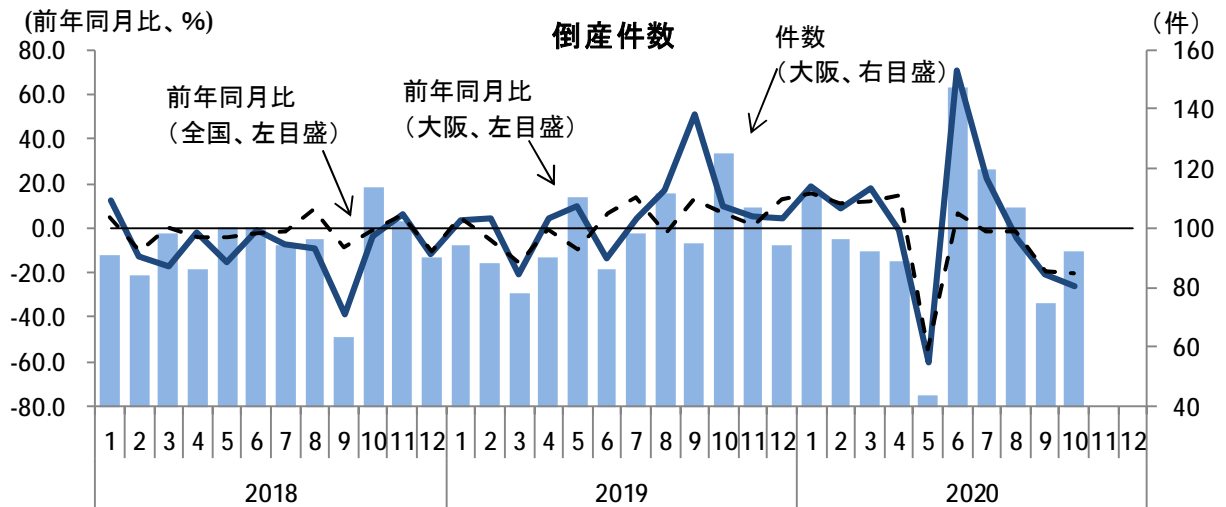


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	'20年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 (見込み)
製造業	▲48.5	▲67.9	▲47.3	▲44.6
非製造業	▲38.3	▲64.8	▲42.5	▲48.4
全産業	▲41.8	▲65.9	▲43.9	▲47.7

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で3ヶ月連続の減少(改善)、負債金額は前年同月比で2ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		20年8月	9月	10月
件	大阪府	107	75	92
前年比 (%)	大阪府	▲4.4	▲21.0	▲26.4
	全国	▲1.6	▲19.5	▲20.0

負債金額

		20年8月	9月	10月
億円	大阪府	116	85	177
前年比 (%)	大阪府	40.1	▲35.3	74.0
	全国	▲16.9	▲37.3	▲11.5

主要業種の倒産件数(大阪府)

	20年8月	9月	10月
建設業	17	12	14
製造業	14	6	8
卸売業	15	9	12
小売業	11	11	19
サービス業他	44	28	29

主な倒産(大阪府、10月)

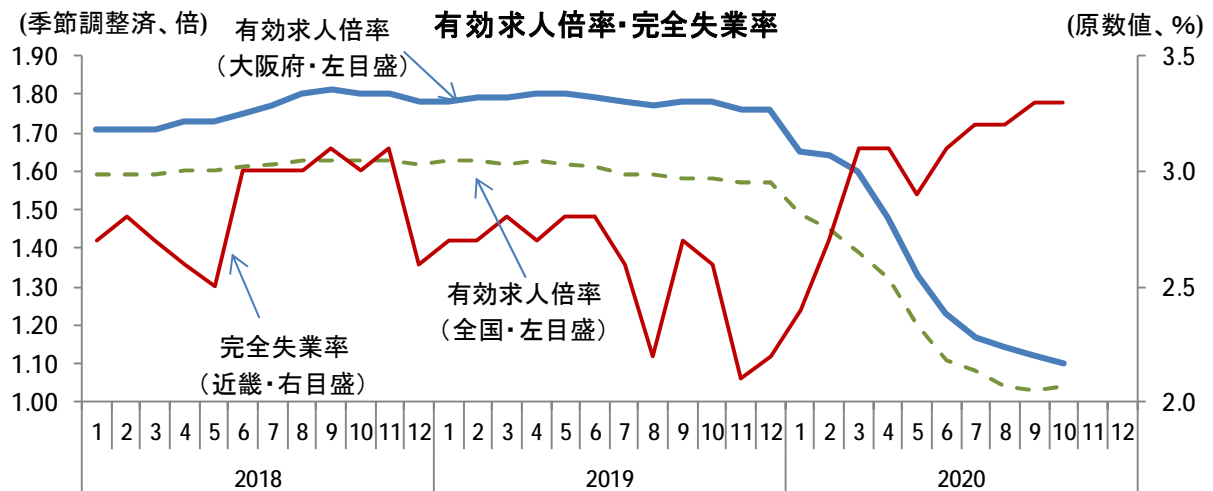
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
強化ガラス製造販売ほか	2,000	既往のシワ寄せ
ゴルフ練習場経営ほか	600	既往のシワ寄せ
履物類企画製造輸入販売	433	販売不振
青果物卸	360	販売不振
化粧品ほか通信販売	340	販売不振

[供給] 雇用

雇用は、急速に弱まっている。近畿の失業率は悪化。有効求人倍率、新規求人倍率はともに低下。所定外労働時間(9月)は低下。

○完全失業率【近畿は8ヶ月連続の悪化。】

有効求人倍率【大阪は10ヶ月連続の低下】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	20年8月	9月	10月
%	3.2	3.3	3.3
前年同月差	1.0	0.6	0.7

完全失業率(全国、季節調整値)

	20年8月	9月	10月
%	3.0	3.0	3.1
前月差	0.1	0.0	0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	20年1~3月	4~6月	7~9月
大阪府	2.9	3.3	3.9
近畿	2.7	3.0	3.2
全国	2.4	2.8	3.0

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	20年8月	9月	10月
大阪府	1.14	1.12	1.10
全国	1.04	1.03	1.04

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	20年8月	9月	10月
大阪府	2.17	2.43	2.05
全国	1.82	2.02	1.82

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

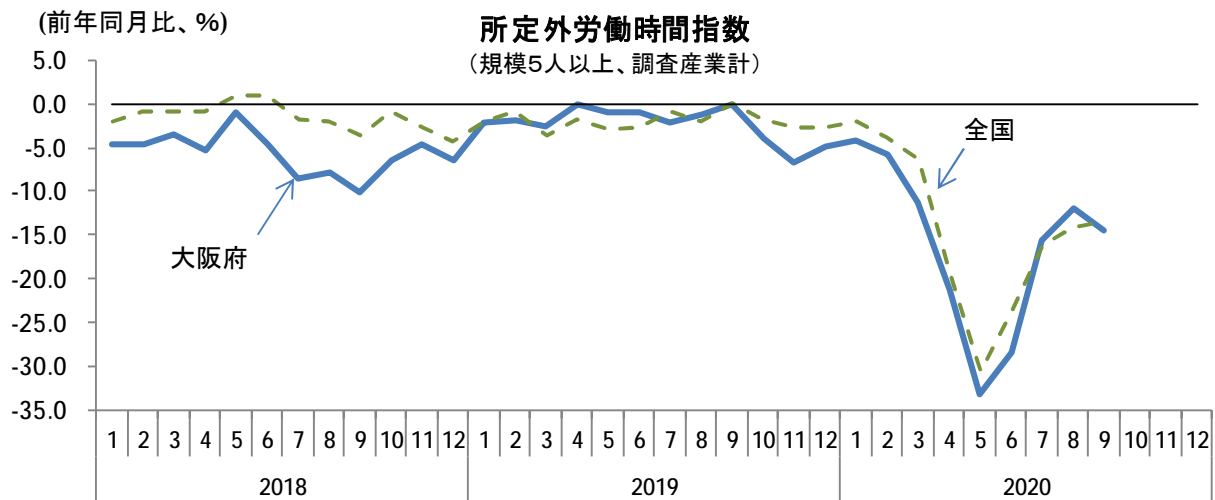
	20年8月	9月	10月
産業計	▲28.0	▲16.3	▲27.7
建設業	▲16.8	26.7	▲8.2
製造業	▲46.6	▲24.7	▲37.9
卸売業、小売業	▲43.0	▲31.9	▲33.1
宿泊業、 飲食サービス業	▲31.0	▲30.0	▲35.5
医療、福祉	▲15.4	▲4.1	▲19.1

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

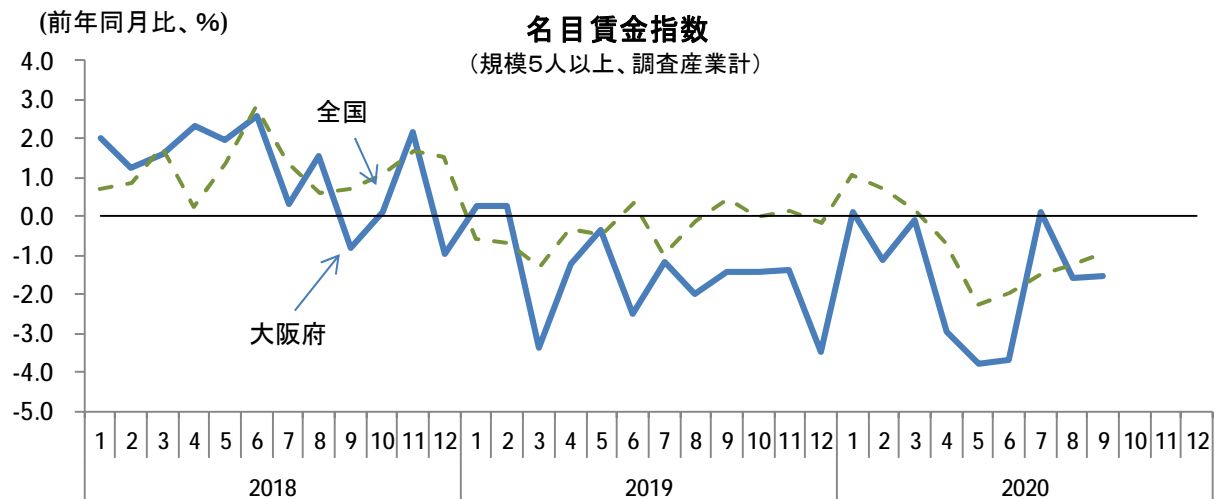
○所定外労働時間指数【大阪府(9月)は12ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2015年=100)による。

		20年8月	9月	10月
指数	大阪府	77.1	79.0	
前年比 (%)	大阪府	▲12.0	▲14.5	
	全国	▲14.1	▲13.4	

○名目賃金指数【大阪府(9月)は2ヶ月連続の減少。】

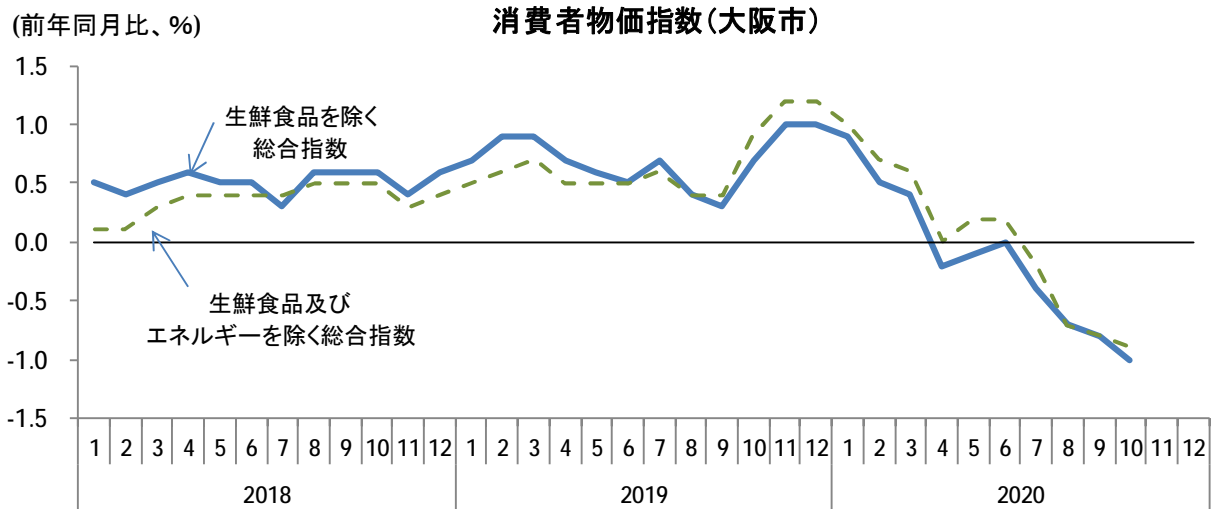


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2015年=100)による。

		20年8月	9月	10月
現金給与総額(円)	大阪府	273,640	275,709	
前年比 (%)	大阪府	▲1.6	▲1.8	
	全国	▲1.3	▲0.9	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は4ヶ月連続の低下。「教養娯楽」「食料」が低下に寄与。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は4ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2015年=100。

総合指数

		20年8月	9月	10月
指数	大阪市	100.7	100.6	P 100.8
前年比 (%)	大阪市	0.1	▲0.2	P ▲0.8
	全国	0.2	0.0	▲0.4

生鮮食品を除く総合指数

		20年8月	9月	10月
指数	大阪市	99.8	99.7	P 100.1
前年比 (%)	大阪市	▲0.7	▲0.8	P ▲1.0
	全国	▲0.4	▲0.3	▲0.7

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		20年8月	9月	10月
指数	大阪市	100.2	100.1	P 100.7
前年比 (%)	大阪市	▲0.7	▲0.8	P ▲0.9
	全国	▲0.1	0.0	▲0.2

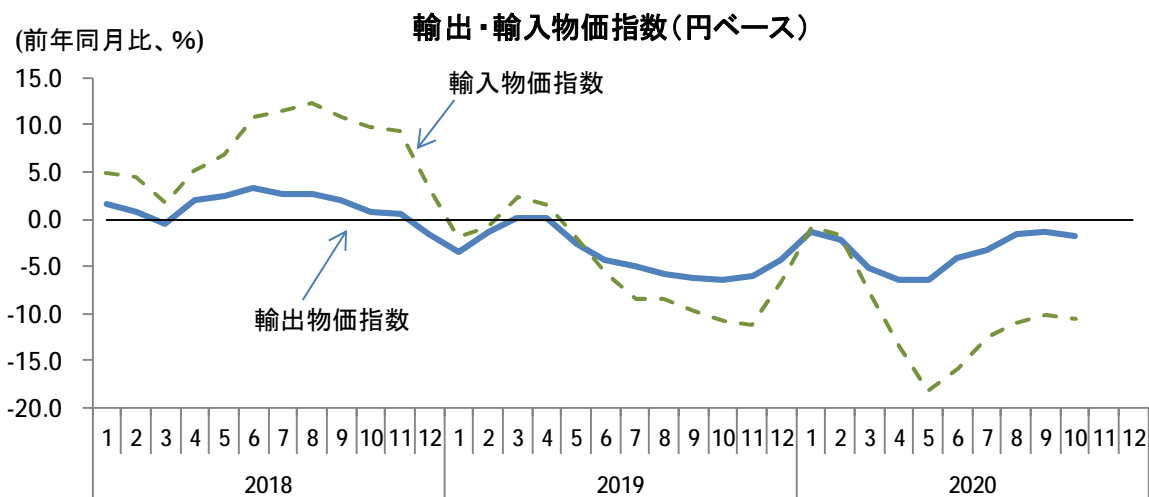
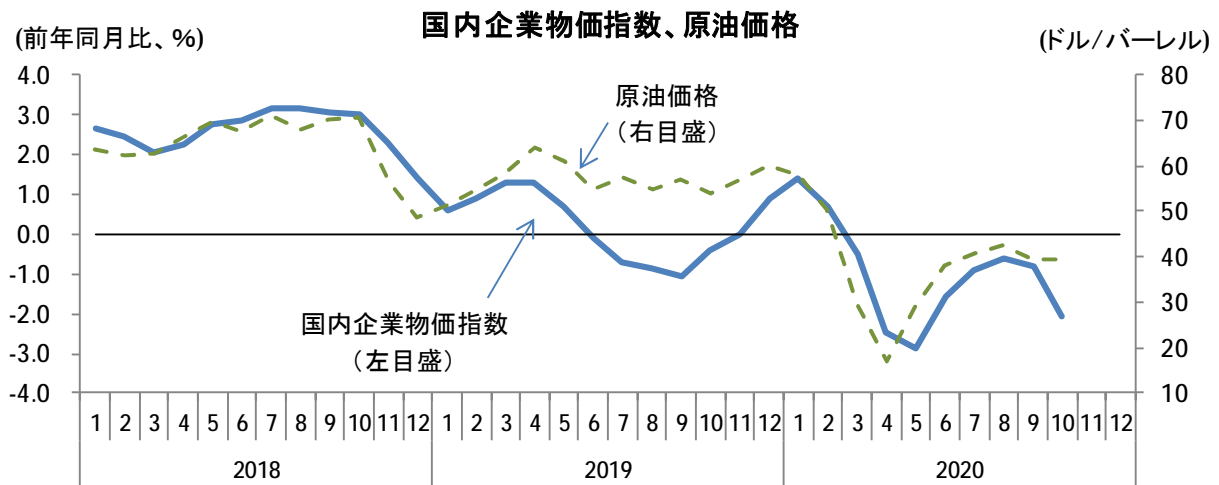
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、10月速報)

上昇	交通・通信(0.6): 通信(携帯電話機、通信料(携帯電話))
低下	教養娯楽(▲4.7): 教養娯楽サービス(宿泊料、フィットネスクラブ使用料)、教養娯楽用耐久財(テレビ、パソコン(ノート型))、
	食料(▲0.8): 外食(学校給食(小学校)、学校給食(中学校))、飲料(豆乳、炭酸飲料、果汁入り飲料)
	光熱・水道(▲1.5): 電気代、ガス代(都市ガス代)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は低下。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は 2015 年=100。

企業物価指数

	20 年 8 月	9 月	10 月
国内企業物価指数	100.3	100.1	P 99.9
輸出物価指数	89.9	90.2	P 90.1
輸入物価指数	82.4	82.6	P 82.5

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015 年=100。

原油価格 (WTI)

	20 年 8 月	9 月	10 月
ドル/バーレル	42.364	39.610	39.530

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(10月速報、寄与度(%))

飲食料品 (0.13) : たばこ、配合飼料、発泡性酒類 (除ビール)
化学製品 (0.05) : 触媒、ブタジエン、合成ゴム
電力・都市ガス・水道 (▲0.34) : 業務用高圧電力、産業用特別高圧電力、産業用高圧電力
石油・石炭製品 (▲0.06) : ガソリン、軽油、A 重油